



日本学術振興会カイロ研究連絡センター定例懇話会(2012年度第2回)のお知らせ

- ◆ 日時：2012年6月21日(木) 18:00 開場 18:30 発表 20:00 懇親会 21:00 閉会
- ◆ 場所：日本学術振興会カイロ研究連絡センター多目的集会室

- ◆ 発表：**エジプトにおける国語と文学教育—「エジプト人」の作られ方—**

平 寛多朗 たいら かんたろう (東京外国語大学大学院博士課程)

なぜ国語の時間の中で、文学作品を読まなくてはいけないのか？一般的に、文学教育は道徳教育として機能してきた。さて、この道徳とは何であろうか？戦中の日本では皇国史観が国語における道徳であった。エジプトでは、1990年代以降の初等教育の国語では、文学教育を通して民主主義が学ばれる一方、集会の自由、自由な選挙の権利という概念が教科書の中から取り除かれていたと指摘されている。道徳は「国家」が望む「国民」を作る側面を持っていると言える。本発表では、高校普通教育の文学教育に焦点を当て、いかにエジプト人意識が形成されるのか迫ってみたい。

- ◆ 参加：参加者は、氏名を明記の上、発表(聴講無料)および懇親会(20LE)の申込内容を、メール(JSPSIecmet@gmail.com)あるいは電話・Fax.(02-2736-3752)に、発表日前日までに伝え下さい(収容人数の関係上、参加者は40人までに限らせて頂きます)。

注) 本定例懇話会を円滑に進めるために、2011年度より、事前に参加人数を事務局が把握し、懇親会は参加費支払型にしております。ご理解頂ければ幸いです。

日本学術振興会カイロ研究連絡センター
JSPS Cairo Research Station
Flat no.4, 9 al-Kamil Muhammad Street
Zamalek, Cairo, Egypt
Tel. Fax. 02-2736-3752

